

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動遊びと療育支援 こどもプラス幕張本郷教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月8日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2025年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童や保護者との信頼をおいて相談への対応を大切にしている支援	・ネットやラインなどのやり取りを行っていない分、保護者の送迎時や面談希望、電話相談があった時には随時対応するようにしている。 ・児童や家庭の悩みなどを聞きながらもどのように対応していくかを一緒に考え対応している。	・さらに子どもの理解を深められるように、学校等の対応も学んでいけるようにしていく。
2	・集団や個別の支援だけでなく、前後の自由遊びからも他者とのかわりを支援している。やり取りや、相手の気持ち、状況に合わせてさまざまな対応や、気持ちが落ち着かない時など場面の切り替えや多方面から切り替えていけるような支援	・療育内容をその日の児童に合わせて検討していることと、勝敗等で気持ちが安定しないような場面を設定しながら切り替えができた経験の積み重ねていけるようにしている。	・意見の飛び交うような環境で、さまざまな考え方や対応を取り入れて職員間でも共有していく。
3	・粗大運動を中心に運動療育を通して体幹を鍛えながら、握る力や腕、足の運び、柔軟性が身につくような支援	・児童には楽しく取り組めるような工夫をし、内容では、体幹、柔軟性を身につけていけるよう療育内容には重視している。	・運動療育の指導を受けて、より特性に合わせた支援内容を充実させていけるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援を実施していないことや、口頭での伝達となり実際の支援をみる機会がない。	・人員配置等実施のためには職員の増員が必要である。 ・多くの職員が対応していけるスキルが必要である。	・関係機関連携を増やしている。必要に応じて機関との連携が対応できるよう人員配置等実施に向けて検討していく。 ・急な対応時にも支援できるよう職員の支援が充実するよう研修も含め行っていく。
2	・安全計画等全保護者に浸透していない。	・一部の利用家庭に伝えた育工夫や、口頭での説明だけでは意識が薄れてくると考えられる。	・必要に応じて書面での説明文や配布物にマニュアル等も取り入れて行く。
3	・地域との交流や、積極的に地域活動等に参加していない。	・日々の療育を大切にしている分、地域活動への参加を重視してこなかった。	・地域と結びつきができるような対策を検討し、児童がさまざまな経験につながる情報発信を行えるようにしていく。